

外出先から自宅に帰れなくなる恐れのある方に

「おかえりマーク」を配布します

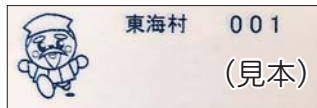
認知症の症状には「記憶障害」や「見当識障害」があり、外出先から自宅に帰れなくなったり、警察などに保護されたりすることがあります。そのような場合に備えて、「おかえりマーク」を身の回りの物に付けておくと、迅速に家族へ連絡することができ、安心です。ぜひご活用ください。



対象▼認知症等により徘徊行動が見られる方、または徘徊の恐れのある方

配布するもの▼登録番号の入った2種類の「おかえりマーク」

- ①防水反射素材…靴のかかとや杖などに(縦15mm×横40mm)
- ②アイロンシール…襟元や肌着などに(縦30mm×横80mm)



登録内容▼住所、氏名、写真、性別、生年月日、電話番号、緊急連絡先(2人分)等

費用▼無料

その他▼事前登録が必要です。※登録した情報は、ご本人と申請者の同意を得て、管轄のひたちなか警察署へ提供します。

【申し込み・問い合わせ】

地域包括支援センター(☎287-2516)

ふるさと歴訪
— 自然を探して —

日本最大級！久慈川の鷺山

東海村の北端を太平洋へと下る久慈川の河川敷には、毎年3〜9月頃、白い花が咲いたようになる場所があります。2千〜3千羽ものサギたちが子育てに集まる、鷺山です。

白い花の正体は、シラサギと呼ばれる鳥の仲間たち。大きな順にダイサギ、チュウサギ、コサギと、後頭部がだいたい色のアマサギの4種類がいます。他に灰色っぽい仲間が2種類、一番大きく翼を広げると恐竜を思わせるようなアオサギと、逆にずんぐり体型でやんちゃな顔つきのゴイサギがいます。少しずつ違う6種類ですが、みんな寂しがり屋(?)で、一か所に集まってきます。

鷺山は常陸太田市側にありますが、林の上に巣を作っているサギたちを観察するには、対岸の東海村(正確には那珂市)側の堤防が絶好の場所です。おススメは明け方。日の出前、夜も活発なゴイサギたちが餌場から帰ってきて、鷺山へ弾丸のように舞い降ります。同時に、これ



から餌を食べに行くシラサギたちが、鷺山から次々と飛び立っていきます。このときサギたちは、餌がたくさん捕れる場所について情報交換しているという研究もあり、良い餌場を知っているサギに、他のサギがついて行くのかもしれない。好物はドジョウ、ザリガニ、カエル、昆虫等。久慈川沿いに広がる田んぼレストランが、田植えから稲刈り頃まで、サギたちの子育てシーズンを支えます。

この箇所では、国土交通省により洪水を安全に流下させるための河道掘削が行われていますが、鷺山のある林は残し、サギたちが子育てをする時期を外して施工するなどの配慮がなされています。住宅地近くの鷺山では、サギたちの声やふんが嫌がられ、林ごと伐採されてしまう事態が全国で起きています。住宅地から少し離れた久慈川が、サギたちと私たちが共に暮らせる場所として、今後も存続していくことを願っています。

国土交通省 国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室

益子 美由希